



社団法人
ふくい・くらしの研究所

理事長
藤川 武夫

ごあいさつ

今年でふくい・くらしの研究所は設立して12年、そして社団法人格を取得して10周年という大きな節目の年を迎えることができました。この間大変お世話になり、ご尽力を賜りましたすべての会員・団体・諸先輩に、そして温かいご理解とご支援を賜りました福井県行政をはじめとする関係者各位に、心より感謝を申し上げます。

本研究所は、1995年9月に福井県に暮らす勤労者・市民の“くらし”を基本視点に据えて、人と自然の在り方を考え、地域社会へ暮らしの立場から提言していく民間研究所として設立されました。当初は主婦会員の先進的で活発な研究・啓発活動として、自主研究グループ活動が食・福祉・環境・くらしという分野を中心に展開され、講演会やセミナーの開催、研究調査結果の公表や行政への要望書提出などに努めてまいりました。

そして2年を経た1997年に社団法人格を取得し、福井県からの物価調査や福井市からのゴミ排出アンケート調査などの委託事業を受託するまでに成長することができました。また、学習会・公開セミナー・シンポジウムを精力的に開催する中で、新聞やテレビの報道機関にも取り上げられ、行政や地域団体の皆様にも次第に認知度を高めることができました。

その後、活動分野も食育・福祉・生活文化へと広げていき、地道で着実な活動が評価されて、2005年からは3年連続で福井県から『消費生活講座』の委託を受け、今日喫緊の課題となっております消費者の自立支援の課題までその活動の一端を担うまでになりました。

今日、日本の地域社会には新たな3つの波が押し寄せております。それは、グローバル化・IT化そして少子高齢化の波です。かつて経験したことのない新しいリスクが予想される3つの波が福井県に暮らす勤労者・市民の暮らしに押し寄せてきます。

安心して暮らせる安全な地域社会の実現には、自らの暮らしを守る権利を理解し、その権利を充分に行使できる知識を持った自立した消費者の育成と、その権利を行使できる機会の提供を支援する機関が必要です。何事にも自己責任が問われる時代です。この新たな時代に求められる課題に対応でき、一人でも多くの自立した消費者づくりを支援していく研究所をめざして、このささやかな本パンフレットを発行いたします。

2007年6月

新しい 地域文化への提言を

1995年9月1日 ふくい・くらしの研究所は、『福井における“くらし”を切り口とした、人間と環境のあり方を考える総合研究所』をめざして、新しい地域文化への提言を目的に任意団体として設立しました。



11月には、生協会館（福井市宝永3丁目）を活動の拠点に据えてオープン式典を開催し、会員相互の交流の場となるフリースペース『ひろば風』もオープンしました。



設立趣意書

古くから越前・若狭といわれた福井県に生きる私たちは、協同と共生の思想を大切にしながら、くらしをめざしました。

そして今、新しい時代を個性的で創造的に生きるために“くらしのありかた”を幅広く研究し、調査発表する『ふくいくくらしの研究所』を県内外より多くの人びとの参加のもとに、設立していきます。

1つのテーマ(主題)

●自立・協同・安全・安心・共生・愛にあふれた未来創造へのアプローチ

「次の感覚地盤に生きる」目とて、福井の地域を大切に“くらし”そのものをあらゆる角度から、調査・研究しあい、議論を深め、自立・協同・安全・安心・共生・愛にあふれた未来創造へのプログラムとシステムのあり方について、積極的にアプローチします。

2つの目的

●集い・論じ・調査・研究しあい、科学的成果へと集約します。

●成果を公開・発表し創造的実践・活用を目指します。

「2つの目的を達成するために、『くらしの調査・研究活動』『調査・研究のためのグルーフづくり』『セミナー・シンポジウムの開催』『情報誌の発行』『政策提案活動』『福井いくくらしの相談活動』を中心の柱として、さらに総合的・連携的な多彩な成果の集約・提言・実践・活用のあり方を目指します」

3つの誓い

●貞実を常に探求します。

●自己性を常に尊重します。

●協同を常に遵守します。

「参加する人びとは、それぞれの関連や立場において、貞実・自己性・協同を心掛けます。これこそが、未来創造のエネルギーとハート(情熱)を發揮させる源泉となることを希求します」

5つの活動指針

●「生活」というワールドを総合的に調査・研究します。

●「福祉」というジャンルを総合的に調査・研究します。

●「家族」のあり方を総合的に調査・研究します。

●「環境」の実態を総合的に調査・研究します。

●「交流」を通じて多くの人びととふれあい、相互に切磋琢磨します。

「生活・福祉・家族・環境・交流」という5つの立場をベースに、あらゆる角度から総合的に調査・研究活動を行い、成果として集約し、実践に移します。とりわけ“交流”は多くの団体・諸機関の人びとのオープンな交換の場として位置づけます。

結語

「私たちは、福井の地における“くらし”を切り口とした、人間と環境のあり方を考える総合研究所づくりを目指します。
それは、新しい地域文化への提言となることでしょう。」

私たち
は
集い
論じ
学び
調査・研究しあい

貞実・自己性・協同の名において
成果を集約し、責任をもって活動します。

それは、未来・夢と希望のメッセージを託する、現在の私たちの重大な責任なのです。

1995 - 1996

日常的な暮らしの中で、特に「生活」「福祉」「家族」「環境」「交流」をテーマに自主研究グループを立ち上げ、研究グループの活動を柱に研究・啓発活動を実践しました。

暮らしの中で疑問に思ったこと、関心のあるテーマを具体的に選定し、アンケート調査、専門家を講師に学習会、行政へのヒアリングや質問状提出などを行って結果をまとめて公表し、公開学習会なども開催しながら問題提起をしました。必要な場合は行政に対して要望書を提出しました。



簡単アイディア料理講習会
(食研究グループ)



手作り介護用品展
「ゆうゆう介護展」
(福祉研究グループ)



1996年12月
「小型規模受水槽水道に対する要望書」
を福井県に提出
(環境研究グループ)



公共交通を考える
(暮らし研究グループ)



評議会

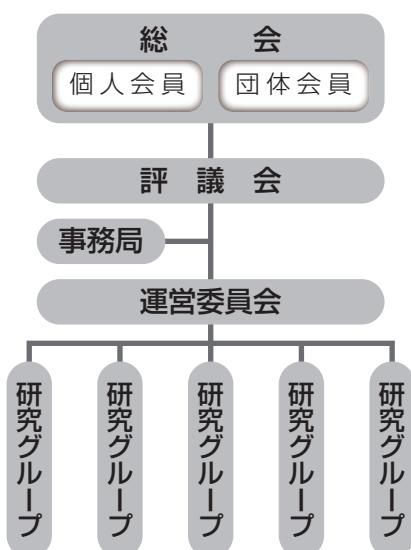


ひろば風『福祉フェア』



初代所長・理事長
大内力氏

組織図



第一期

くらしを考える人づくり、場づくりを 未来を見つめた 考えたくらし方提案を 地域とのネットワークを繋げて

1997年6月11日に社団法人格を取得しました。法人格を取得したことで社会的信用が高まり、行政や民間団体の調査事業の委託を受けるようになりました。また、第一次中期3ヵ年計画（1999年度～2001年度）を策定し、研究グループを中心に活発な活動が展開されました。

各研究グループによる研究成果の公表や公開セミナー・シンポジウム・学習会が活発に展開され、また研究結果をもとに、行政や事業団体に要望書を提出しました。

行政や地域の諸団体との共催や連携による事業も活発化し、さらに行政主催の環境展などにも出展してくらし方提案の場を求めて積極的に活動しました。新聞やテレビなど報道機関でのよりよいくらし方提案も活発に行いました。

フリースペース「ひろば風」も、作品発表の場として、プロ・アマチュアを問わず毎年多くの個人・グループの利用がありました。

2002年度～2003年度は、創立以来の研究所活動の成果を踏まえ、さらに発展させていくための活動の方向性を検討しました。



1997年10月「福井のバス」に対する要望書を福井県に提出。福井市とバス会社にも提出しました。
(くらし研究グループ)



社団法人として第1回総会（1998年6月27日）



発行した冊子

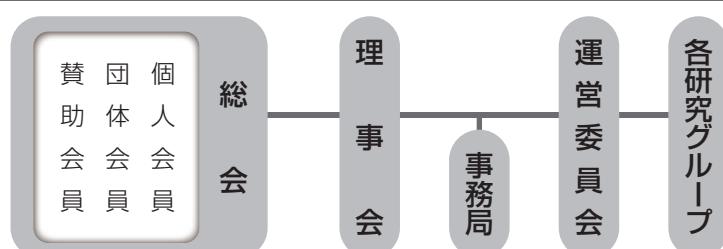


ふくい・くらしの
研究所まつり

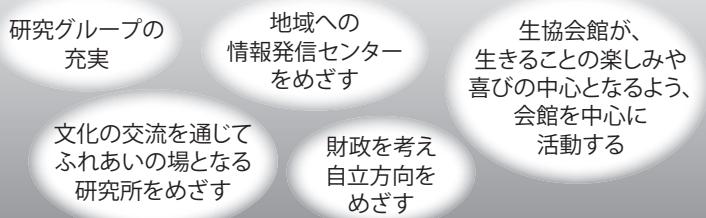


社団法人 2代目理事長
宮川緑夫氏

組織図



第一次中期3ヵ年計画の基本方針



1997-2003



手作り浄水器づくり（環境研究グループ）



古紙を使った
多目的ボックス
『リサイクルくる』
を商品開発。
福井県リサイクル
認定商品に選定。
(環境研究グループ)



親子クッキング（食研究グループ）



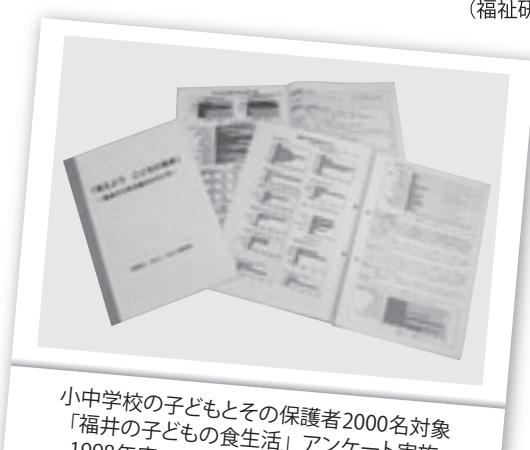
1998年度 「男性の食の自立」をめざして、
『男の料理教室』スタート



1998年度 生協会館で地域のお年寄り対象の
『お食事会（金曜会）』スタート
(福祉研究グループ)



福井の物価調査（行政からの委託事業1998年～
2000年）専門家を交えて物価調査データを分析
(くらし研究グループ)



小中学校の子どもとその保護者2000名対象
「福井の子どもの食生活」アンケート実施
1998年度・2001年度（食研究グループ）



くらしの中の商品学習グループ活動



ひろば風「夏休み一日教室」



「私たちの出来ることからはじめよう」
環境セミナー（県・市民団体と共に催）



親子環境セミナー



ライフプランセミナー

「“食べる”を
楽しもう」
シンポジウム



消費者の自立を支援し、 福井県に定着した研究所をめざして

第二次中期3ヵ年計画（2004年度～2006年度）を策定し、「研究所がめざすもの」を掲げて3つの事業（啓発事業・調査研究事業・広報事業）を中心に事

業活動をすすめました。

また、事業規模拡大に伴い、理事会体制・事務局体制を強化しました。

研究所のめざすもの

- ①「消費者の自立」を支援する研究所
- ②消費者の視点に立ち、消費者の声が反映されるよう消費者行政・企業など地域社会に提言する研究所
- ③福井県における消費者団体の連携を支援する研究所
- ④くらしと地域の生活・文化活動に役立つ機関として福井県に定着した研究所

啓発事業

2005年度より、福井県消費生活センターから「消費者講座」の委託を受けて、年間約50企画、1500人以上の県民に受講いただくことができ、「消費者の自立」支援活動が大きく広がりました。



実修講座（県委託事業）

親子で楽しむ商品テスト
(県委託事業)

JAや生協、福井県栄養士会などの関係機関と協同で、「子どもの食生活」「環境」「福祉」といったタイムリーなテーマでの講演・シンポジウムや、体験学習としての「食育サロン」の開催に加えて、学校をはじめ地域への出前講座にも積極的に出かけ、行政や各種団体とのネットワークづくりが大きく前進しました。



福祉講演会



食育シンポジウム



くらし見直し講演会



「食育体験サロン」で
さつまいもの植え付け



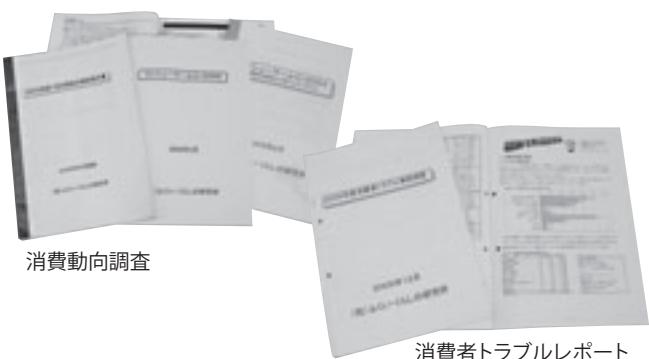
市民講座「ソーラークッキング」

2004-2006

調査研究事業

定期継続調査である「消費動向調査」、「子どもの食生活と健康」調査、「消費者トラブル」調査など、研究所ならではのデータ・情報を収集して地域社会に提言し、新聞やテレビなどの報道機関にも取り上げられました。

県行政や生協関係からは調査研究事業を受託され



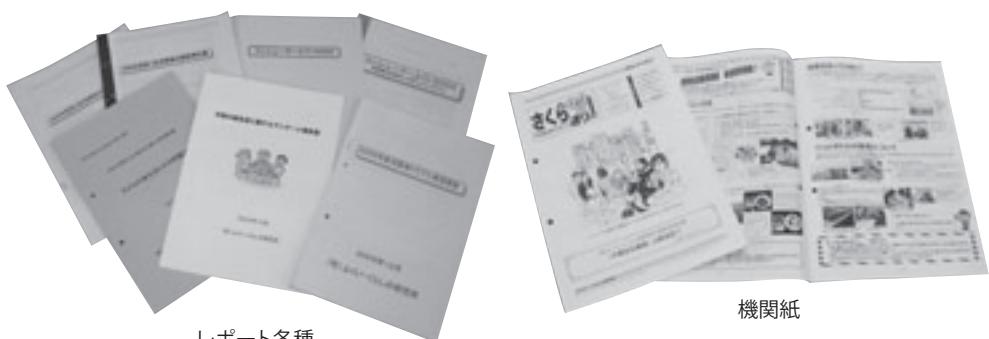
ますが、他の事業団体からも調査依頼が受けられるよう、消費者の視点に立った、地域経済に役立つデータ・情報収集能力をさらに高める必要があります。



広報事業

機関紙「さくら通り」の定期発行、ホームページリニューアル、調査報告書を報道機関や関係機関に配付するなど、積極的に情報発信しました。

研究所の広告塔の役割を果たしてきた「ひろば風」は年間30企画前後を開催し、多くのプロやアマチュアの方々にご活用いただき、多数のご来場をいただきました。



レポート各種

機關紙



ホームページ



陶と器のアクセサリー展



押し花展

ひろば 風

ふくい消費者自立支援センターめざして
自立した消費者が安心してくらせる、
安全な地域社会の実現への貢献を

2007-2009

消費者が国からも保障された『消費者の権利』を行使でき、安心してくらしていくために、公益法人の立場から、消費者の自立意識のさらなる向上と消費者の視点に立った地域づくりに貢献します。

◆研究所のめざす姿

安全な地域社会の中で安心してくらせるよう、消費者の自立意識の向上を支援しつづけられる、福井県に定着した研究所をめざします。法人格を取得してから10周年を迎えてさらに一步前進し、県民、家族、地域社会それぞれのフィールドにおいて事業活動を展開し、くらしの研究所の将来像「ふくい消費者自立支援センター」を描いていきます。



①県民にとってのくらしのアドバイザー

②消費者と行政・企業・生産者をつなぐコーディネーター

研究所の将来像 **ふくい消費者自立支援センター**

参考データ

Reference data



あゆみ

年度	主な取り組み	研究活動（研究組織）	主な受託・協力事業
1994	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県民生協において、くらしの準備委員会設置 ● 会員募集 		
1995	<ul style="list-style-type: none"> ● 設立総会 (個人会員 58名、団体会員 63団体) ● ふくい・くらしの研究所オープン式典 『お披露目会』 ● オープン企画『陶・染・パッチワーク展』 ● 情報紙『さくら通り』創刊号発行 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の在宅介護 (福祉研究グループ) ● 蛇口での安全な水 (環境研究グループ) ● 公共交通アクセス (くらし研究グループ) 	
1996	<ul style="list-style-type: none"> ● 設立記念事業 「ママの最後のおくりもの」 演劇鑑賞交流 ● 第1回総会 ● 設立記念講演会 「夢を語る」酒井 弥氏 ● 設立記念事業「くらしの工夫展」 ● 福祉ボランティア交流会 ● 福井県に対して 「小型規模受水槽水道に対する要望書」提出 ● 社団法人 ふくい・くらしの研究所設立総会 ● 食の安全セミナー（3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の在宅介護支援 (福祉研究グループ) ● 上水道の水～水はいのち～ (環境「水」研究グループ) ● ゴミの減量リサイクル (環境「ゴミ」研究グループ) ● 住民からのくらしと公共交通 (くらし研究グループ) ● 加工食品+αで健康メニュー (食研究グループ) ● 生活文化交流施設「ひろば風」企画 (ひろば風プロジェクト) 	
1997	<ul style="list-style-type: none"> ● 社団法人格取得 ● 第2回総会 ● 「福井のバスを考えよう」シンポジウム ● 羽田澄子氏講演会と映画上映 ● 京福電鉄、福井県、福井市に対して 「福井のバスに対する要望書」提出 ● COP3 アクション「おこったお日さま」 ● 文化事業 西田堯舞踏団公演「祖国」 ● 大内力理事長講演 「日本経済 今後の課題」 ● 食生活セミナー（6回） ● 福祉ボランティア交流会（2回） ● 介護セミナー（3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の在宅福祉 (福祉研究グループ) ● 净水器を役立てる (環境「水」研究グループ) ● 生活を工夫してゴミ減量 (環境「ゴミ」研究グループ) ● 税のゆくえ (くらし研究グループ) ● 福井の物価 (くらし研究グループ) ● 加工食品+αで健康メニュー (食研究グループ) ● 生活文化交流施設「ひろば風」企画 (ひろば風プロジェクト) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県民生協 「組合員生活実態調査」
1998	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境ホルモン学習会 ● 第1回総会（社団法人として） ● 講演会 「愛するもののために」 門野晴子氏 ● 「保障の見直し」公開学習会 ● 福祉ボランティア交流会 ● 第1回「男の料理」教室 ● 古紙を利用した多目的ボックス 「リサイクルくる」完成 ● 高齢者対象の第1回「お食事会」 ● 福祉セミナー（2回） ● 子育てセミナー（2回） ● 介護保険学習交流会（3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 協同と共生のたすけあい (福祉研究グループ) ● ゴミダイエット・リサイクル (環境「ゴミ」研究グループ) ● 福井の物価～生鮮野菜～ (くらし研究グループ) ● 食卓から見た福井の子ども (食研究グループ) ● 生活文化交流施設「ひろば風」企画 (ひろば風プロジェクト) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県 「福井の物価流通」 ● 福井県民生協 「組合員生活実態調査」

年度	主な取り組み	研究活動（研究組織）	主な受託・協力事業
1999	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミシンポジウム「考えようゴミ」 ● 第2回総会 「第一次中期3カ年計画」スタート ● 会員交流会 ● 福祉交流会 ● 環境セミナー 「私たちのできるところから始めよう」 ● くらしの研究所まつり (研究発表・交流会) ● 文化活動 福祉映画「一本の手」 ● 子育てセミナー(3回) ● くらしの中の商品学習会(13回) ● 男の料理(7回) ● 食のセミナー(2回) ● 高齢者対象のお食事会(9回) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 協同と共生のたすけあい (福祉研究グループ) ● リサイクルでゴミ減量 ～再生紙ティッシュ～ (環境研究グループ) ● 福井の物価～生鮮魚介類～ (くらし研究グループ) ● 加工食品+αで健康メニュー (食研究グループ) ● 生活文化交流施設「ひろば風」企画 (ひろば風プロジェクト) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県 「福井における生鮮魚介類の流通と消費に関する意識調査」 ● 福井県民生協 「組合員生活実態調査」「ハーツアンケート」「なないろレシピ」
2000	<ul style="list-style-type: none"> ● 公開講座 「安心な食料とくらし ～農業と食卓をより近づけて～」 谷野 陽氏 ● 第3回総会 ● 学習講演会 「社会福祉法の成立と福祉市場化」 芝田英昭氏 ● 環境セミナー 「私たちのできるところから 始めよう Part2」 ● くらしの研究所まつり ● 「有機農産物を考えるフォーラム ～生産者と消費者の交流会～」 ● 電気生ゴミ処理機使用者交流会 ● BOXティッシュのJISマークに関して 通産省に要望書提出 ● 介護保険学習会 ● 高齢者対象のお食事会(9回) ● 食生活セミナー(2回) ● 男の料理(毎月1回) ● くらしの中の商品学習会(毎月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会でたすけあい (福祉研究グループ) ● リサイクルでゴミ減量 (環境研究グループ) ● 福井の物価 ～生鮮野菜・果物・魚介・肉～ (くらし研究グループ) ● 男性と子どもの食の自立 (食研究グループ) ● 身近な商品知識と実習 (くらしの中の商品学習グループ) ● 情報発信と学習資料整備 (情報センター研究グループ) ● 環境家計簿(環境家計簿研究) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県 「福井の物価・流通についての調査研究」 ● 福井県民生協 「ヘルパー養成研修」「組合員生活実態調査」「ハーツお買い物物アンケート」「なないろレシピ」 ● コープ北陸 「第2次中期計画アンケート」
2001	<ul style="list-style-type: none"> ● 第4回総会 ● 公開学習会 「食料・農業・農村基本計画と食生活指針」 森本豊志氏 ● 環境セミナーⅢ 「めざせグリーンコンシューマー」 ● 食公開講座 「自然とともに生きる農 ～食卓と農をより近づけて～」 藤本 肇氏 ● くらしの研究所まつり ● ホームページ開設 ● 高齢者対象のお食事会(9回) ● 食の安全講座(2回) ● くらしの中の商品学習会(毎月1回) ● 男の料理(毎月1回) ● Let's クッキング(毎月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会でたすけあい (福祉研究グループ) ● 自動販売機について考え方 ～清涼飲料水～ (環境研究グループ) ● 生活の中の包材 (くらし研究グループ) ● 子どもの食 (食研究グループ) ● 敦賀でくらしの研究 (敦賀くらし研究グループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県民生協 「ヘルパー養成研修」「組合員生活実態調査」「なないろレシピ」

あゆみ

年度	主な取り組み	研究活動（研究組織）	主な受託・協力事業
2002	<ul style="list-style-type: none"> ● 第5回総会 ● くらしと省エネセミナー 「家族そろって省エネ的くらし」 ● 子どもの食と健康シンポジウム 「“食べる”を楽しもう」 ● シンポジウム 「農場から食卓までの安全を求めて」 ● くらしと金融講座 ● 環境講座（2回） ● 男の料理（毎月1回） 		<ul style="list-style-type: none"> ● 福井市 「家庭排出物の実態 およびリサイクル 状況調査」 ● 福井県民生協 「福井県の食と農」 「地球温暖化防止のため のくらし方 提案と事業 のあり方」
2003	<ul style="list-style-type: none"> ● 第6回総会 ● 学習講演会 「食品安全基本法の概要と 食品安全行政について」松田友義 氏 ● 親子環境セミナー ● おしゃべり環境フォーラム 「みんなでめざす グリーンコンシューマー」 ● 食育シンポジウム 「お米が食生活を変えるとき」 ● 男の料理（14回） ● ライフプランセミナー（4回） 		<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県民生協 「県内における地域別、 世代別の食生活実態調 査と食生活の見直し」 「最近の県内消費動向と 福井県民生協事業のあ るべき姿」 ● コープ北陸 「組合員生活実態調査」
2004	<ul style="list-style-type: none"> ● 第7回総会 第2次中期3カ年計画スタート ● 学習講演会「顧客不満足度の活かし方」 南保 勝氏 ● 環境教育講座「ソーラークッキング」 ● 地球を守る環境展 ● 子どもの食と健康シンポジウム ● 講演「食べる・生きる・育つ」 坂本廣子 氏 ● 食育サポーター養成講座（12回） ● 男の料理（23回） ● 金銭教育セミナー（2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンシューマーふくい 2004 (消費動向調査から見たふくいのくらし) ● 子どもの食生活に関するアンケート調査 (子どもの食卓研究会) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県 「食の安全・安心に 関する意識調査」 ● 福井県民生協 「少子高齢社会の 現状と今後の課題」 ● コープ北陸 「組合員生活実態調査」
2005	<ul style="list-style-type: none"> ● 第8回総会 ● 学習講演会 「福井の子どもの食習慣と健康」 戎 利光氏 ● 食育シンポジウム ● 食育サポーター養成講座（5回） ● 親子環境セミナー（3回） ● 男の料理（20回） ● ライフプラン講座（3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンシューマーふくい 2005 (消費動向調査から見たふくいのくらし) ● 消費者トラブル実態調査 ● 子どもの食と健康調査 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県 「消費者の自立および リーダー育成支援講座」 ● 福井市 「紙ごみ排出事業所 アンケート調査」 ● 福井県民生協 「組合員満足度調査」 ● コープ北陸 「組合員生活実態調査」
2006	<ul style="list-style-type: none"> ● 第9回総会 ● 学習講演会 「消費者被害防止に向けて」上田孝治 氏 「だまされたらあかんザ！ 最近の消費者トラブル」 ● 親子環境セミナー ● 福祉セミナー 「輝き出す まち！」大熊由紀子 氏 ● 食育シンポジウム 2006 ● ライフプラン講座 ● 食育サポーター養成講座（5回） ● 食育体験サロン（8回） ● 男の料理（15回） 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンシューマーふくい 2006 (消費動向調査から見たふくいのくらし) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井県 「消費者の自立および リーダー育成支援講座」 「消費生活講師養成講座」 「ゴミを出さない地域づ くり推進事業」 ● 福井県民生協 「組合員満足度調査」 ● コープ北陸 「組合員生活実態調査」